

平成28年2月期 通期決算説明会

株式会社アルバイトタイムス

平成28年4月15日

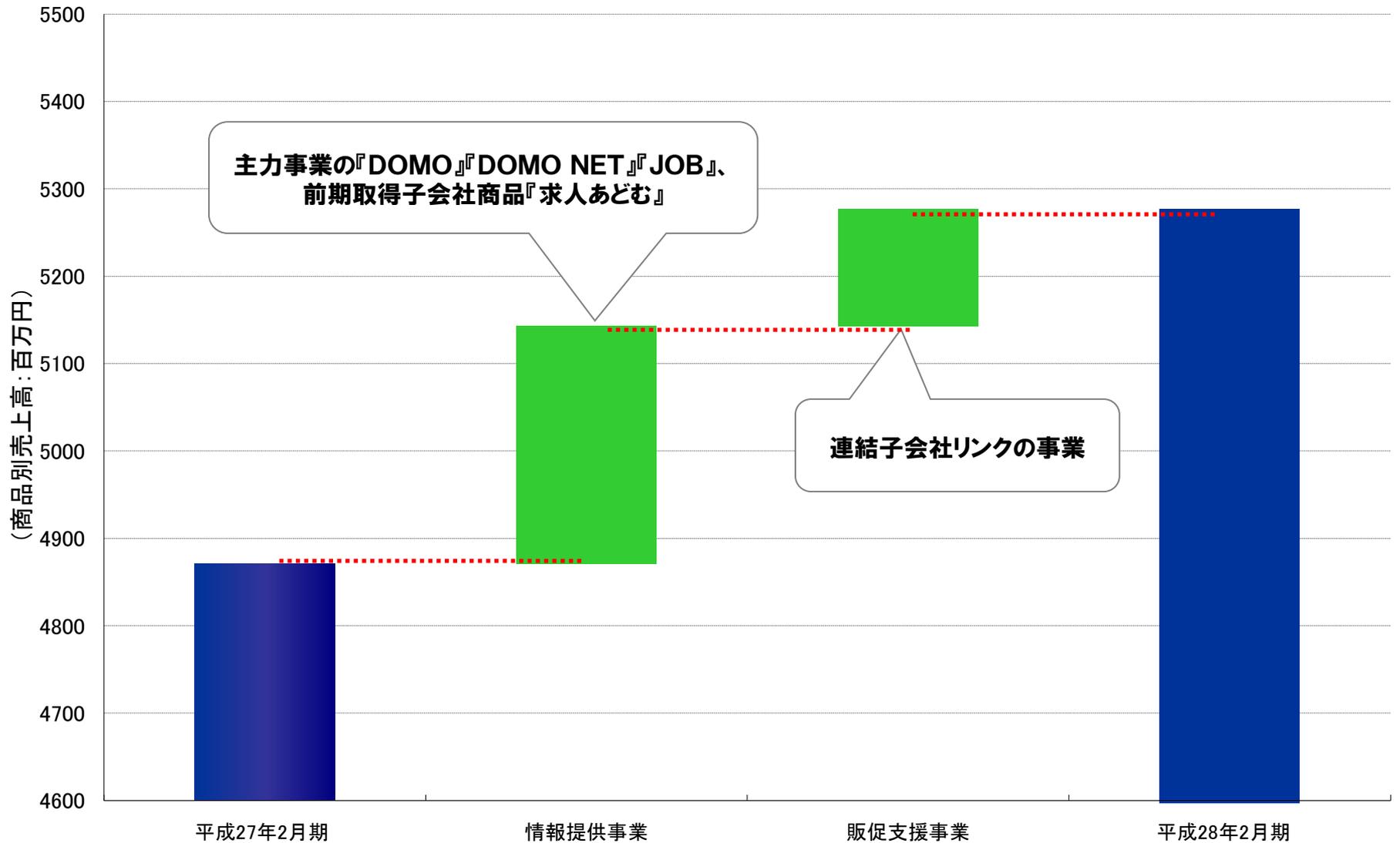
連結業績の概要

平成27年3月1日～平成28年2月29日

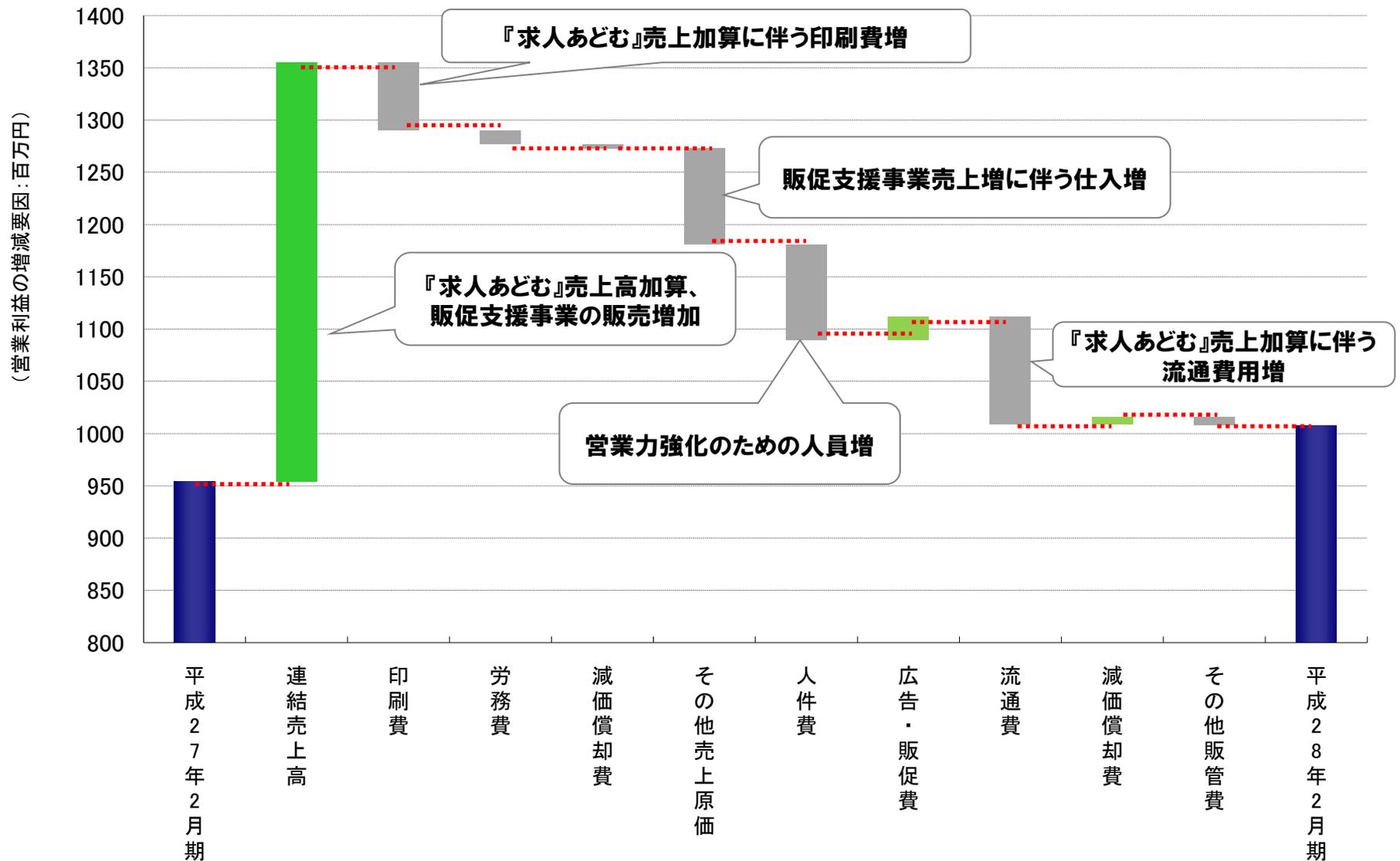
通期の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成28年2月期		平成27年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	5,243	100.0	4,842	100.0	401	8.3
売上原価	1,557	29.7	1,383	28.6	174	12.6
印刷費	658	12.6	592	12.2	65	11.1
労務費	153	2.9	140	2.9	13	9.4
減価償却費	14	0.3	10	0.2	4	40.2
その他売上原価	731	13.9	640	13.2	91	14.2
売上総利益	3,685	70.3	3,458	71.4	227	6.6
販管費	2,677	51.1	2,504	51.7	172	6.9
人件費	1,473	28.1	1,381	28.5	91	6.7
広告・販促費	357	6.8	379	7.8	△22	△5.9
流通費	306	5.9	202	4.2	103	51.2
減価償却費	37	0.7	45	0.9	△7	△17.4
その他販管費	502	9.6	494	10.2	7	1.5
営業利益	1,008	19.2	954	19.7	54	5.7
経常利益	1,008	19.2	957	19.8	51	5.3
税金等調整前	1,008	19.2	957	19.8	51	5.3
当期純利益	758	14.5	856	17.7	△98	△11.5
EPS	¥27.14		¥29.92			

セグメント別売上高(内部取引消去前)



営業利益の増減要因



当期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成28年2月末		平成27年2月末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	4,537	83.8	4,287	83.1	249	5.8
固定資産	874	16.2	871	16.9	3	0.4
資産合計	5,412	100.0	5,159	100.0	253	4.9
流動負債	653	12.1	692	13.4	△38	△5.6
固定負債	1	0.0	1	0.0	0	17.8
負債合計	655	12.1	693	13.4	△38	△5.6
資本金	455	8.4	455	8.8	—	—
資本剰余金	540	10.0	540	10.5	—	—
利益剰余金	4,760	88.0	4,258	82.5	502	11.8
自己株式	△1,005	△18.6	△792	△15.4	△213	—
株主資本	4,750	87.8	4,462	86.5	288	6.5
その他包括利益累計額	3	0.1	3	0.1	0	2.1
少数株主持分	3	0.1	—	—	3	—
純資産	4,757	87.9	4,465	86.6	291	6.5
負債・純資産合計	5,412	100.0	5,159	100.0	253	4.9
BPS	¥171.05		¥156.71			

当期累計の業績(CF)

金額・増減額:百万円	平成28年2月期Q4累	平成27年2月期Q4累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	946	793	153
投資活動CF	△56	△86	29
財務活動CF	△470	△409	△60
増減額	420	297	123
期首残高	3,266	2,968	
期末残高	3,687	3,266	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前当期純利益が1,008百万円、減価償却費が51百万円となった一方で、法人税等の支払額が98百万円となりました。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が24百万円、有形固定資産の取得による支出が17百万円、敷金及び保証金の差入による支出が15百万円となりました。

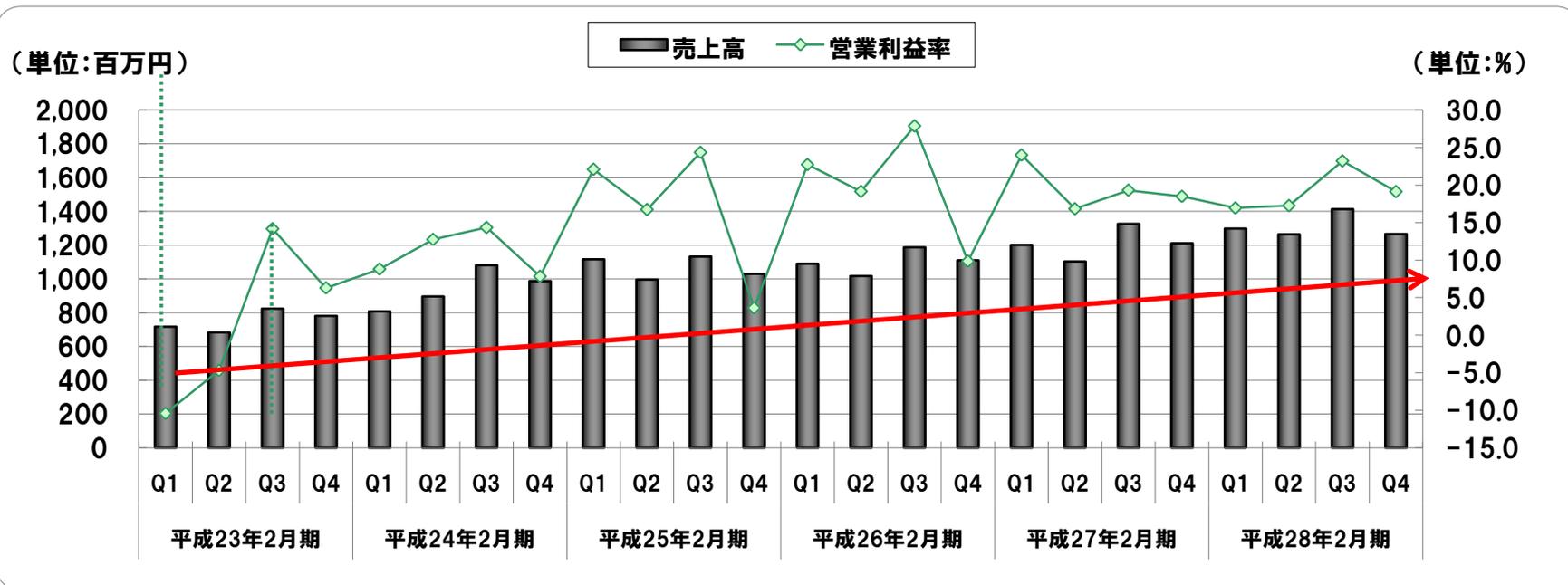
➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 配当の支払い額が254万円、自己株式の取得による支出が215百万円となりました。

当期の総括

平成27年3月1日～平成28年2月29日

経営環境と業績推移



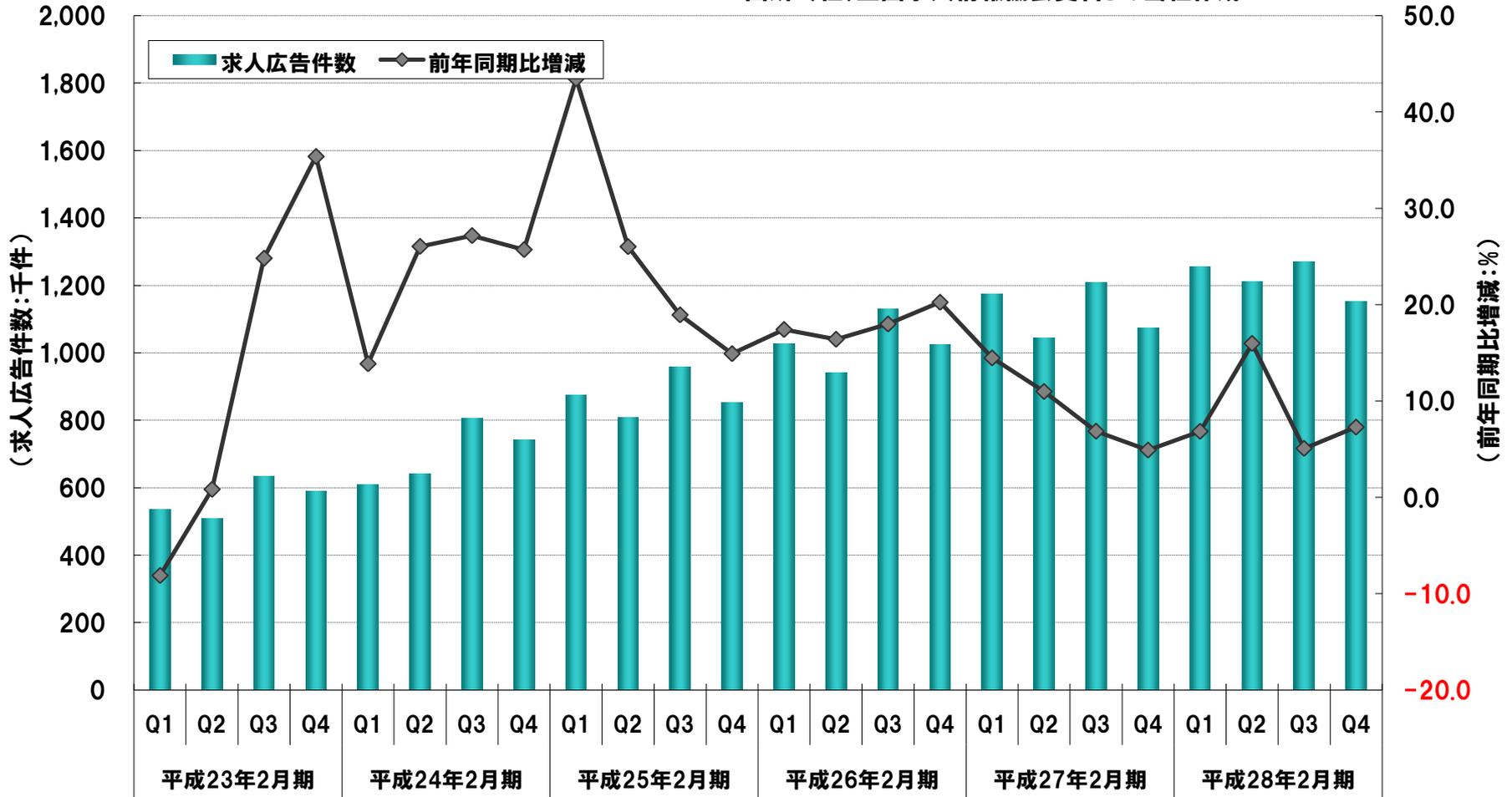
➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ 平成21年2月期中に発生したリーマン・ショックにより大幅に業績が悪化、平成22年2月期に合理化策による収益構造の改善を実施し、平成23年2月期に黒字転換、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。
- ◆ 政府の経済政策や日銀の金融緩和による企業収益の改善、構造的な労働力人口減少により企業の採用意欲は増加している環境下、人材不足やミスマッチ、地方創生など行政の雇用施策に係る動きへの対応、また、大手競合との差別化に向けた新たな投資による事業が必要。

事業環境①

全国の求人広告件数の推移
(正社員系及び非正社員系の合計、求人情報誌のみ)

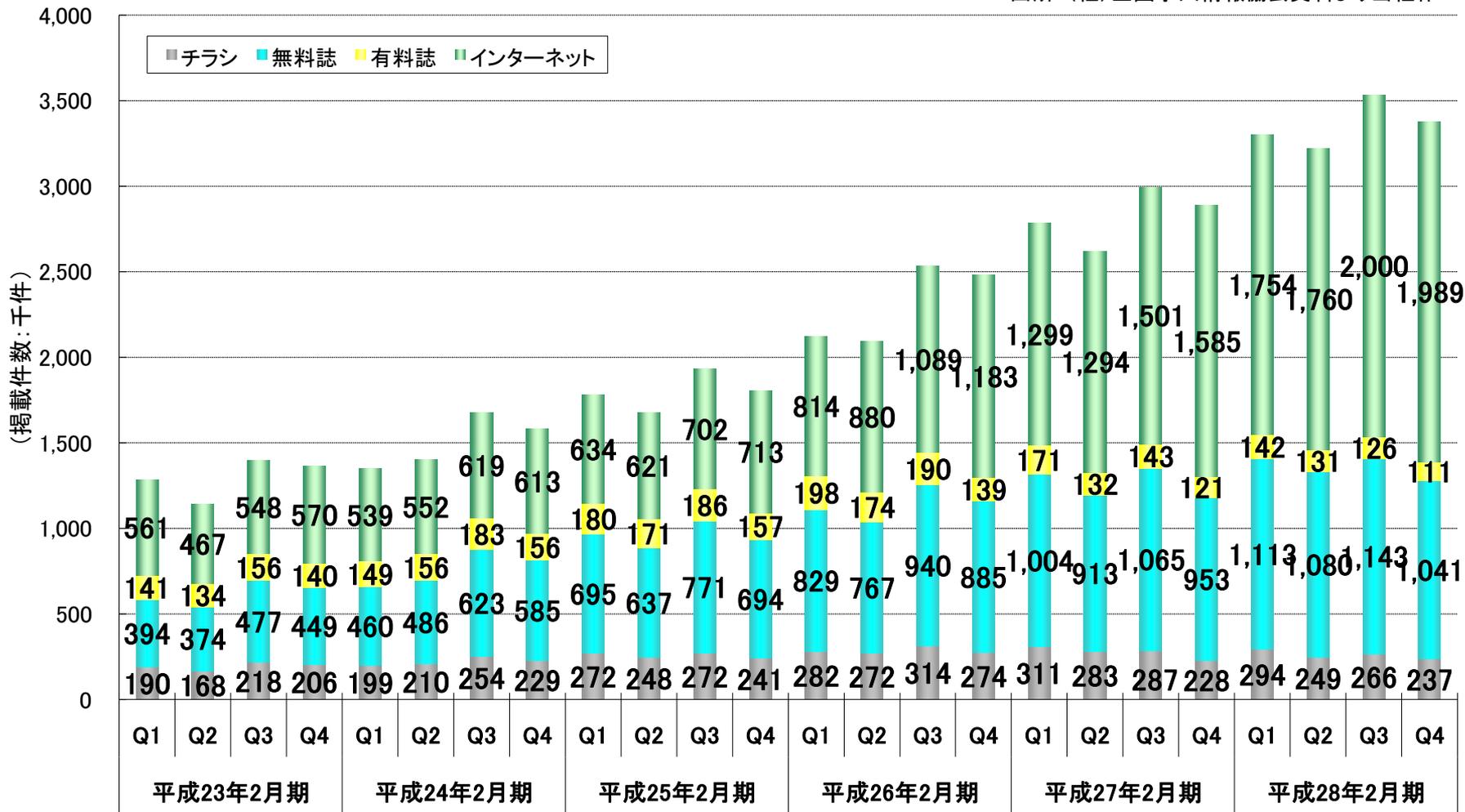
出所：(社)全国求人情報協会資料より当社作成



事業環境②

媒体別求人広告件数(全国)

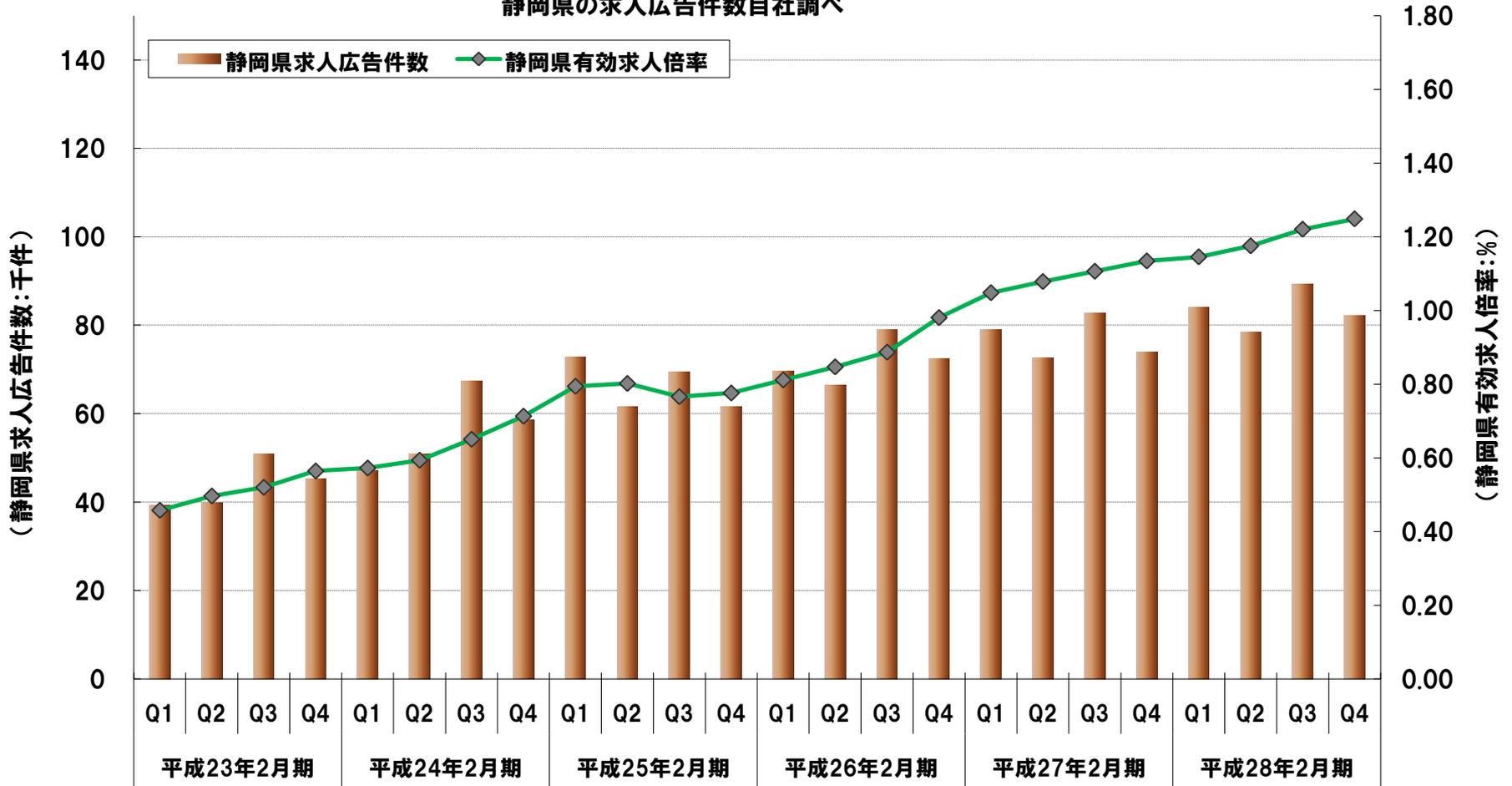
出所：(社)全国求人情報協会資料より当社作



事業環境③

静岡県の求人広告件数および有効求人場率の推移
(求人紙媒体のみ)

出所:有効求人倍率 静岡労働局「職業安定業務月報」より当社作成
静岡県の求人広告件数自社調べ



当期の方針

基本戦略

- 既存事業において安定的・恒常的に利益を創出する
- 資産を有効活用した新規事業によって成長戦略を描く
- 当社グループの理念を根付かせ、自立した企業風土へと変革する

収益構造の改善

収益基盤の拡大

自立人材の育成と事業スピードの加速

重点施策

- 収益基盤の拡大
 - ◆ サービス拡充によるアカウント拡大
 - DOMO・DOMONET・求人あどむの3点セット販売開始
 - ◆ 地域特化サービスの推進
 - DN専用サイトをオープン
 - 1月に『デジタルハリウッドSTUDIO静岡』を開講
 - ◆ ペット関連事業での拡販に向けた商品および営業体制の強化
 - 6月にリニューアルによりターゲットユーザー・顧客にアプローチ
- 新たな投資によるグループ連携事業の成長推進
 - ◆ 新商材(TSUNORU/ベティ/あどむ)を最大限に活用したアカウントの拡大
 - 新規商品の売上貢献、増収に寄与
 - ◆ 外国人採用支援事業とミャンマー合併事業による新市場開拓
 - 5月、2月に『ミャンマージョブフェア』を開催
- 次世代を担う人材の育成
 - ◆ 領域拡大および社外リソースに対応しうる人材の育成を行う。

次期の方針、連結業績予想

平成28年3月1日～平成29年2月28日

次期の方針

基本戦略

(1) 事業拡大に向けた積極的な投資

～外部リソースも活用し、新たなエリアの進出やサービスの拡充により、
新たな顧客づくりに取り組みます。

(2) グループ総合力強化による事業推進

～事業地域や属性に応じて各社の垣根を超えた事業リソースを活かす
横断的活動に取り組みます。

(3) 現場主義による自立的発展

～顧客接点を大切にし、成長の喜びを糧に自ら考え行動する自立人材の
積極的な活用と支援に取り組みます。

次期の方針

重点施策

各地域における人材関連サービスの拡大

- 多様な入職サービスの提供(中途新卒正社員.AP求人広告/紹介/転職イベント)
- 地域/業種/属性別の取組強化(製造.IT/主婦.学生.外国人留学生)
- 求職者の就業に向けたスキルや就業環境支援(デジハリ静岡校/学童保育)
- 中小中堅企業に向けた人事支援サービスの提供(社員教育/法改正支援)
- 事業サービスのスピードに向けた社外リソースの専門知見と技術の積極活用

情報発信力とユーザー拡大に向けたエリア展開

- グループシナジーを最大限活用した人材サービス事業の展開地域拡大
- ペット事業(ワンダフルスタイル/DOGフェスタ)のサービス拡張

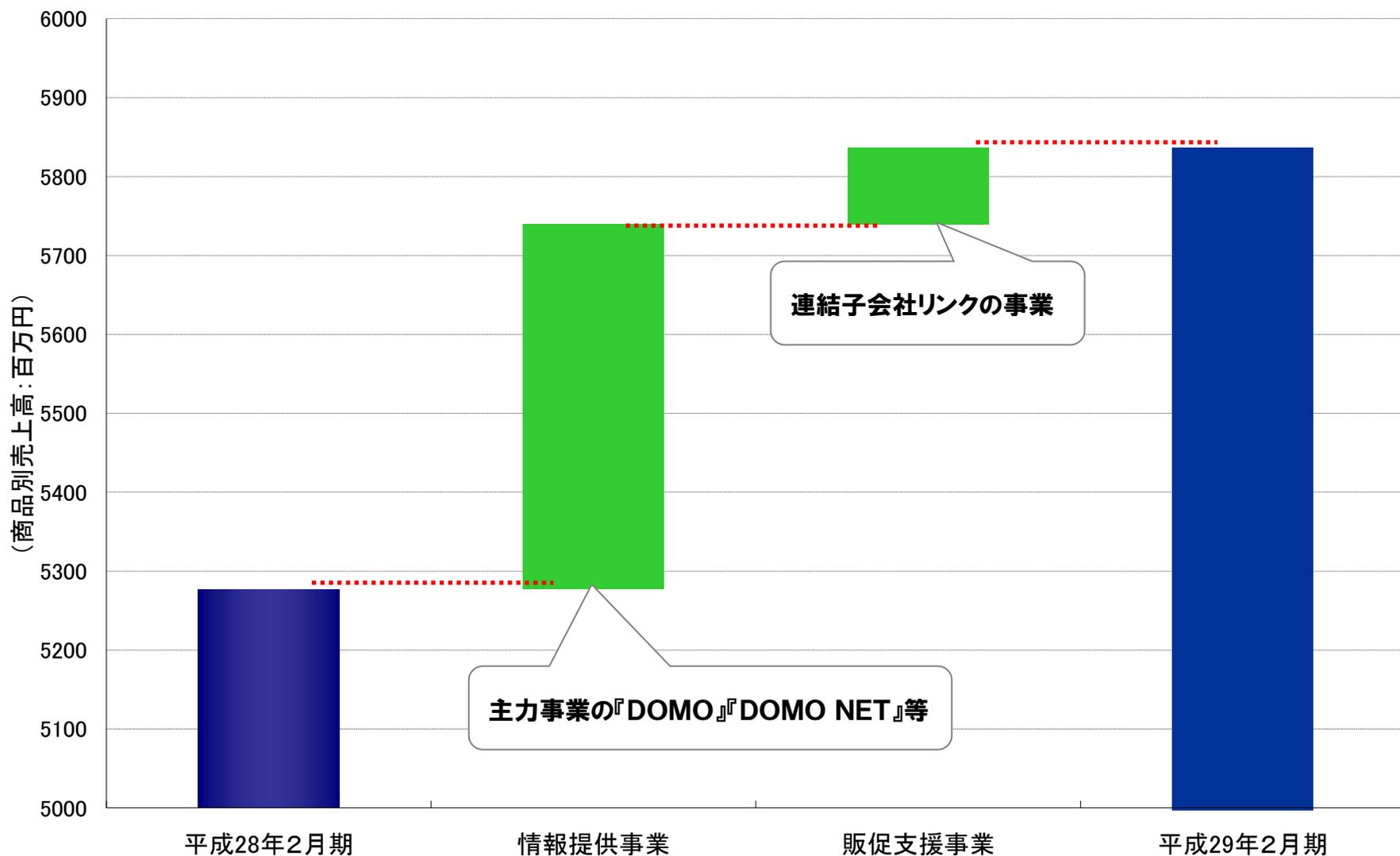
自立人材の積極的な活用と支援

- 改定人事制度の運用による現場力強化と採用力の向上

業績予想

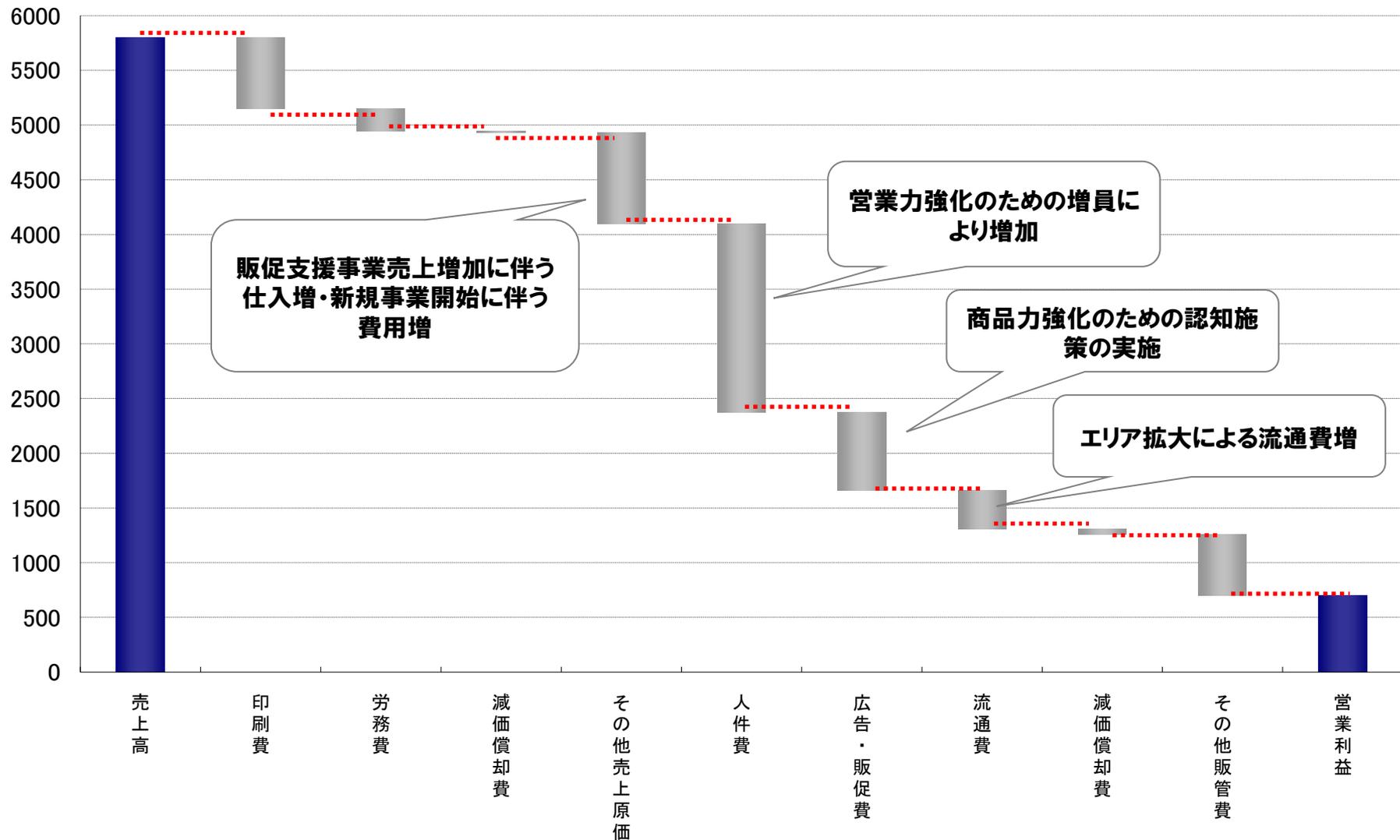
金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成29年2月期		平成28年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	5,801	100.0	5,243	100.0	557	10.6
売上原価	1,703	29.4	1,557	29.7	145	9.3
印刷費	650	11.2	658	12.6	△7	△1.2
労務費	207	3.6	153	2.9	53	35.1
減価償却費	16	0.3	14	0.3	2	18.9
その他売上原価	827	14.3	731	13.9	96	13.2
売上総利益	4,098	70.6	3,685	70.3	412	11.2
販管費	3,398	58.6	2,677	51.1	720	26.9
人件費	1,726	29.8	1,473	28.1	253	17.2
広告・販促費	711	12.3	357	6.8	354	99.3
流通費	352	6.1	306	5.9	46	15.0
減価償却費	49	0.9	37	0.7	11	31.7
その他販管費	556	9.6	502	9.6	54	10.9
営業利益	700	12.1	1,008	19.2	△308	△30.6
経常利益	697	12.0	1,008	19.2	△310	△30.8
税金等調整前	697	12.0	1,008	19.2	△310	△30.8
当期純利益	504	8.7	758	14.5	△253	△33.5
EPS	¥18.63		¥27.14			

セグメント別売上高(内部取引消去前)



売上から営業利益までの内訳

(単位:百万円)



連結当期純利益の30%を目処

- 当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。
- 一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結当期純利益の30%を目処に配当を行う方針です。
- 当期の配当につきましては、1株当たり9円の期末配当を予定しております。次期の配当につきましては、1株当たり7円の期末配当を予定しております。

自己株式の取得及び消却について

➤ 自己株式の取得及び消却を行う理由

- ◆ 将来の経営環境の変化に対応する機動的な資本政策の遂行を可能とするため、また、株主の皆様への利益還元を図るため

➤ 取得の内容

- ◆ 取得する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 取得する株式の総数 700,000株(上限)
・ (発行済株式総数(自己株式を除く)に占める割合 2.52%)
- ◆ 株式の取得価額の総額 200百万円(上限)
- ◆ 取得する期間 平成28年4月13日～平成28年6月30日
- ◆ 取得方法 信託方式による市場買付

➤ 消却の内容

- ◆ 消却する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 消却する株式の総数 上記により取得した自己株式の全数
- ◆ 消却予定日 平成28年7月15日

➤ 参考(平成28年3月31日時点の自己株式の保有)

- ◆ 発行済株式総数(自己株式を除く) 27,793,193株
- ◆ 自己株式数 5,844,056株

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

連絡先

株式会社アルバイトタイムス 管理部広報IR課

TEL:03-3254-2501

FAX:03-3254-2444

E-MAIL:ir@atimes.co.jp

住所:101-0043

千代田区神田富山町5-1 神田ビジネスキューブ8F

HP:http://www.atimes.co.jp